



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年10月31日

上場会社名 株式会社京写 上場取引所 東  
 コード番号 6837 URL <http://www.kyosha.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 児嶋 一登  
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員人事総務・経理財務担当 (氏名) 平岡 俊也 (TEL) 075-631-3193  
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	10,535	2.2	196	△39.6	209	△38.9	134	△42.2
30年3月期第2四半期	10,307	10.3	324	37.3	342	39.9	232	23.9

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 0百万円(△99.9%) 30年3月期第2四半期 152百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	9.37	—
30年3月期第2四半期	16.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	14,564	6,808	45.8
30年3月期	14,795	6,922	45.9

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 6,676百万円 30年3月期 6,788百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
31年3月期	—	0.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	3.5	750	29.4	740	20.3	500	7.4	34.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	14,624,000株	30年3月期	14,624,000株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	294,287株	30年3月期	294,277株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	14,329,723株	30年3月期2Q	14,331,288株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 当社は平成30年11月29日(木)に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、説明会開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。
3. 当社の四半期連結財務諸表に表示されている科目及びその他の事項の金額は、従来、千円単位で記載しておりましたが、第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに變更いたしました。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度及び前第2四半期連結累計期間についても百万円単位に組替え表示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の当社が属するプリント配線板業界の状況は、国内の景気は緩やかな回復が続き、自動車関連や省エネ、高付加価値の家電製品、映像関連等の需要が増加したことから、堅調に推移しました。

海外では世界的な貿易摩擦の激化が懸念されましたが、中国のインフラ投資促進策等の経済対策やアジア新興国で堅調な内需により、経済は安定成長を続けたことから、需要は堅調に推移しました。

このような状況の中、当社グループの国内売上は、プリント配線板事業で自動車関連分野やLED照明等の家電製品と液晶テレビ等映像関連分野の受注が好調に推移し、実装関連事業では、実装事業で航空機関連やノートパソコン向けの受注が好調であったことから前年同四半期を上回りました。

海外では中国で事務機や家電製品分野等の受注は増加したものの、アミューズメント関連の受注減、中国、インドネシアでの映像関連分野の需要減及び円高の為替影響により前年同四半期を下回りました。これらの結果、売上高は国内の好調により10,535百万円（前年同四半期比2.2%増 228百万円の増収）となりました。

利益面では、主材料（銅張積層板）価格の上昇に対応し、製品価格の適正化を進めてきましたが、引き続き適正化遅れの影響が残りました。また、海外においては香港ドルに対する人民元高による製造経費の増加、国内においては増産による外注費の増加等があり、営業利益は196百万円（前年同四半期比39.6%減 128百万円の減益）、経常利益は209百万円（前年同四半期比38.9%減 133百万円の減益）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は134百万円（前年同四半期比42.2%減 98百万円の減益）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、主に受取手形及び売掛金の減少242百万円、投資有価証券の増加155百万円等により、14,564百万円（前連結会計年度末比230百万円の減少）となりました。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、主に支払手形及び買掛金の減少450百万円、短期借入金の増加390百万円等により、7,756百万円（前連結会計年度末比116百万円の減少）となりました。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、主にその他有価証券評価差額金の減少41百万円、為替換算調整勘定の減少83百万円等により、6,808百万円（前連結会計年度末比114百万円の減少）となりました。

#### (キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前第2四半期連結累計期間より535百万円増加し、3,366百万円となりました。各活動別のキャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加額は、202百万円（前年同四半期は72百万円の増加）となりました。これは主に仕入債務の減少384百万円、減価償却費293百万円、税金等調整前四半期純利益207百万円によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少額は、500百万円（前年同四半期は383百万円の減少）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出286百万円、投資有価証券の取得による支出213百万円によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加額は、438百万円（前年同四半期は25百万円の増加）となりました。これは主に短期借入金の純増加375百万円、長期借入れによる収入300百万円、配当金の支払額114百万円によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績につきましては、平成30年7月31日発表からの変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,351	3,491
受取手形及び売掛金	4,439	4,196
製品	692	728
仕掛品	366	426
原材料及び貯蔵品	981	886
その他	430	351
貸倒引当金	△10	△1
流動資産合計	10,250	10,080
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,380	3,387
減価償却累計額	△2,718	△2,754
建物及び構築物(純額)	662	633
機械装置及び運搬具	7,616	7,649
減価償却累計額	△5,557	△5,674
機械装置及び運搬具(純額)	2,059	1,975
土地	698	698
建設仮勘定	39	61
その他	1,100	1,108
減価償却累計額	△866	△864
その他(純額)	234	244
有形固定資産合計	3,693	3,612
無形固定資産	86	72
投資その他の資産		
投資有価証券	339	495
繰延税金資産	212	127
その他	227	189
貸倒引当金	△13	△12
投資その他の資産合計	765	799
固定資産合計	4,545	4,484
資産合計	14,795	14,564

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,719	3,268
短期借入金	2,120	2,511
1年内返済予定の長期借入金	210	231
リース債務	20	18
未払法人税等	37	36
賞与引当金	171	160
その他	591	612
流動負債合計	6,871	6,837
固定負債		
長期借入金	201	375
リース債務	82	73
退職給付に係る負債	379	416
繰延税金負債	111	—
その他	226	52
固定負債合計	1,001	918
負債合計	7,872	7,756
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,102	1,102
資本剰余金	1,153	1,153
利益剰余金	4,062	4,081
自己株式	△33	△33
株主資本合計	6,285	6,304
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	132	90
繰延ヘッジ損益	△3	0
為替換算調整勘定	511	428
退職給付に係る調整累計額	△138	△146
その他の包括利益累計額合計	502	371
非支配株主持分	134	131
純資産合計	6,922	6,808
負債純資産合計	14,795	14,564

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	10,307	10,535
売上原価	8,417	8,748
売上総利益	1,890	1,786
販売費及び一般管理費	1,565	1,590
営業利益	324	196
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	1	2
為替差益	25	18
仕入割引	4	9
雑収入	12	18
営業外収益合計	44	50
営業外費用		
支払利息	17	22
売上債権売却損	7	9
雑損失	1	5
営業外費用合計	26	37
経常利益	342	209
特別利益		
固定資産売却益	1	0
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	1	0
特別損失		
固定資産売却損	2	0
固定資産除却損	5	1
減損損失	—	0
特別損失合計	7	2
税金等調整前四半期純利益	336	207
法人税、住民税及び事業税	94	69
法人税等合計	94	69
四半期純利益	241	138
非支配株主に帰属する四半期純利益	8	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	232	134

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	241	138
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17	△41
繰延ヘッジ損益	0	2
為替換算調整勘定	△117	△90
退職給付に係る調整額	11	△8
その他の包括利益合計	△88	△138
四半期包括利益	152	0
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	152	3
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△3



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	336	207
減価償却費	276	293
減損損失	—	0
のれん償却額	9	9
引当金の増減額(△は減少)	△11	△20
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	14	21
受取利息及び受取配当金	△2	△4
支払利息	17	22
有形固定資産除売却損益(△は益)	6	1
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	—	0
売上債権の増減額(△は増加)	8	197
たな卸資産の増減額(△は増加)	24	△5
仕入債務の増減額(△は減少)	△616	△384
その他	85	△115
小計	147	221
利息及び配当金の受取額	2	4
利息の支払額	△15	△17
法人税等の支払額	△62	△5
営業活動によるキャッシュ・フロー	72	202
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1	△1
有形固定資産の取得による支出	△322	△286
無形固定資産の取得による支出	△9	△3
有形固定資産の売却による収入	8	1
投資有価証券の取得による支出	△59	△213
投資有価証券の売却による収入	—	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△383	△500
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	221	375
長期借入れによる収入	—	300
長期借入金の返済による支出	△65	△105
自己株式の取得による支出	0	0
配当金の支払額	△113	△114
非支配株主への配当金の支払額	△5	△6
リース債務の返済による支出	△10	△10
財務活動によるキャッシュ・フロー	25	438
現金及び現金同等物に係る換算差額	△52	△2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△337	138
現金及び現金同等物の期首残高	3,168	3,227
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,830	3,366

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。